

日本の脱炭素化を考えるための 世界の科学者からの、気候変動10の最新メッセージ

無料・オンライン開催・要登録

日本の脱炭素化を考えるうえで重要なこととは？ 本イベントでは、国際研究プロジェクトであるグローバル・カーボン・プロジェクト(GCP)による最新の温室効果ガス収支と、フューチャー・アースによる報告書「気候変動について今伝えたい、10の重要なメッセージ」とを紹介。専門家によるプレゼンテーションとパネルディスカッションにより、気候変動の“今”と“これから”、そして、日本の脱炭素化について考えます。

2021年6月9日(水)
15:00-17:00(日本時間)



参加登録：
<https://forms.office.com/r/zbkLv8AzZi>
締切：6月8日(火) 17:00(日本時間)



司会：江守正多
(国立研究開発法人国立環境研究所)

10 New Insights in Climate Science 2020

世界の二酸化炭素収支2020年版

1 気候科学に関する1年を振り返って 5	2 1パリ協定達成のためには野心的な排出削減が必要だが、モデルの改良によって強調された 7	3 融解する永久凍土からの排出量が、これまでの予想よりも多くなるおそれがある 10
4 森林伐採が熱帯の炭素吸収量を劣化させている 13	5 気候変動は水の危機を著しく悪化させる 16	6 気候変動はメンタルヘルスに著しく影響を与える 19
7 政府はCOVID-19からのグリーンリカバリーの機会を活かせていない 22	8 COVID-19と気候変動は、新しい社会契約が必要ことを証明した 25	9 成長に焦点を当てた景気刺激策は、パリ協定を危機に陥れる 28
10 公正で持続可能な社会への転換には、都市の電化が極めて重要である 31	11 気候訴訟は人権擁護のための重要な気候行動である 34	12 文献 37
13 謝辞 38		

Global Carbon Budget 2020

COVID lockdown causes record decrease in CO₂ emissions for 2020

2020 fossil emissions decrease of 2.4 billion tonnes is largest ever recorded

CO₂ emissions cuts of 1 to 2 billion tonnes are needed each year between 2020 and 2030 to limit climate change in line with Paris Agreement goals

Emissions from road transport cause the largest share of the global 2020 decrease

Effect of COVID-19 restrictions on emissions:
Residential, Power, Industry, Surface transport, Aviation

The level of CO₂ continues to increase in the atmosphere, causing climate change

Although emissions have decreased in 2020 due to the global COVID-19 restrictions, the concentration of CO₂ continues to increase

Copyright: Produced by the Global Carbon Project based on Friedmann et al. Earth System Science Data (2020). Figures are subject to updates in GCRU 2021 with the Global Carbon Budget from: Global Carbon Project. Member institutions: The European Commission (2017-2020) and IGC (2020).

[「気候変動について今伝えたい、10の重要なメッセージ」原文と和訳はこちらから](#)

[「世界の炭素収支2020」原文はこちらから](#)

日本の脱炭素化を考えるための 世界の科学者からの、気候変動10の最新メッセージ

プログラム



15:00

イベントの説明

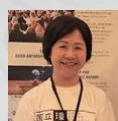
【司会進行】江守正多（国立環境研究所 地球システム副領域長／連携推進部 社会対話・協働推進室長）



15:03

開会挨拶

三枝信子（国立環境研究所 地球システム領域長）



15:05

フューチャー・アースの活動と「気候変動について今伝えたい、10の重要なメッセージ2020」の紹介

春日文字子（国立環境研究所 特任フェロー／フューチャー・アース国際事務局日本ハブ 事務局長）



グローバル・カーボン・プロジェクト(GCP)の活動と2020年に発表した温室効果ガス収支報告の紹介

白井知子（国立環境研究所 地球システム領域 地球環境データ統合解析推進室長／GCP国際オフィス代表）



15:17

「2050年カーボンニュートラルに向けた日本の気候変動対策」

和田憲拓（環境省脱炭素社会移行推進室 室長補佐）



15:31

「2050年に日本で脱炭素社会を実現するために」

増井利彦（国立環境研究所 社会システム領域 脱炭素対策評価研究室長）



15:45

「観測とモデルで診る温室効果ガスの収支」

丹羽洋介（国立環境研究所 地球システム領域 物質循環モデリング・解析研究室 主任研究員）



15:59

「気候危機は他の多くの危機とつながっている」

渡辺知保（長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科（TMGH）教授・学長特別補佐）



16:13

「コロナ禍・気候変動と新しい社会契約」

森 秀行（公益財団法人地球環境戦略研究機関 特別政策アドバイザー）

16:30

パネルディスカッション

モデレーター：江守正多

パネリスト：講演者全員

17:00

閉会

主催